

轟 と ど ろ

平成22年 8月27日
8月号

今年も水俣で親子キャンプ



7月24日から25日にかけて一泊二日で水俣市へキャンプに出かけました。保育園生・小学生・中学生・高校生に大人とたくさんの方が参加してくれました。みんな海水浴が大好きでなかなか上がってこようとはしませんでした。夜は保護者による宴席と変わりキャンプ場は大賑わいでした。

夏休み前に交通安全教室を実施

7月13日に氷川警察署のご協力で交通安全教室を開催しました。県下で発生した交通事故事例や分かりやすいDVD映像で説明を受けました。その後、全員で体育館に引かれた交差点の渡り方そして見通しの悪い交差点での渡り方などについて実技指導を受けました。



ムジナ(穴熊)が校庭に



7月16日の昼過ぎ、プール入り口の右サイドに頭を草の中に突っ込んで尻だけ動かす何やら分からない動物を発見しました。餌のミミズ取りに一生懸命で全く人間に気づく様子もありませんでした。調べてみたらムジナで、漢字で書けば「貉」で、穴熊でした。校舎周りや学校園を荒らしていたのは、何とムジナだったのです。体全体がパンパンに太っていました。

町内の先生方が参加して研修会を開催



2日には、泉町内の保育園・小中学校・高校の先生方全員が集まって一緒に勉強会を開催しました。これは各校園の連携と先生方の泉町に関する知識を得るために研修するものです。今年は、泉ふれあいセンターでグループに分かれて不登校問題への解決に向けた連携対策の協議、そして午後は氷川ダムでの現地研修を行いました。

校長コラム

地域の方に指導者になってもらい故郷五家荘を満喫する体験活動を夏休みにも実施した。その内容は上で報告したとおりだが、8月22日に計画していた上福根山のトリカブトの花満開見学登山は、時期が早かったこともあって中止となってしまった。トリカブトの花の美しさを子ども達に是非見せたいという思いだったのだが、よく調べてみると全国的にも鹿が年々増え続けているそうで餌となる木々が殆ど食べられてしまい山が荒廃しているとのこと。その後にトリカブトやバイケイ草などの薬草がはびこって草原化しており、花の美しさに見とれている場合ではないことが分かった。五家荘の山でも一面しゃくなげが咲いていた場所でも、鹿によって花が食べられてしまったために壊滅状態と聞いた。林業での生計が厳しく就労者も少ないために、山の手入れも難しく、狩猟される方も減少化そして高齢化されるなど目の前の山々が厳しい状況となっているのが残念でならない。秋には、その状況を肌で感じ取らせるために現地に赴かせて本校の子ども達にしっかり考えさせたいと思っている。どうにか共存できる方法はないものだろうか。

先生と親子で手打ちうどん体験



7月27日には、本場香川県のうどん粉をわざわざ取り寄せて、手打ちうどん体験を行いました。初めは大人が先に取りかかり、時間をずらしながら親子で打ちました。昨年、手打ちそばを経験していることもあって非常に上手でした。120人前の生麺は、一緒に試食した後に家族に持ち帰りました。

山女魚料理のしかたを学ぶ



8月20日の午前中に山女魚荘で山女魚の料理体験をしました。これは、樺木の観光産業の一役を担う山女魚に直接関わることの大切さを学ぶものです。黒木智さんと美保さんから、掴み取り・内臓取りだし・串刺し・塩焼き・フライなどの体験をさせていただきました。山女魚の三枚おろしを見学した後にみんなで試食、刺身と自分で調理した山女魚は最高でした。

にがこべ川で竹んぼ飯・そうめん流し



8月20日の午後には、にがこべ川の最上流に移動し大自然の中で「五家荘そうめん流し・竹んぼ飯炊き体験」をしました。山口さんと木場さんに前日の竹切りや当日の設営など協力いただきました。竹んぼ飯炊きの火おこしは、順調だったものの水量調整の失敗でゴッチン飯でしたが、川原で食べた流しそうめんは最高でした。その後、川に入っただの水遊びでは大はしゃぎでした。